

令和6年度 次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進
(最先端技術及び教育データ利活用に関する実証事業)
成果報告会

生成AI組込みアプリの利用による 子供の話す力（自己表現力）・思考力向上の検証

本日の目次

- 1 一般社団法人アルバ・エデュについて
- 2 教育現場の課題
- 3 先端技術（生成AIを用いた教育アプリ）導入と話す力
- 4 実証事業/効果測定
- 5 実証事業での課題と求める支援
- 6 今後の展望

一般社団法人アルバ・エデュについて

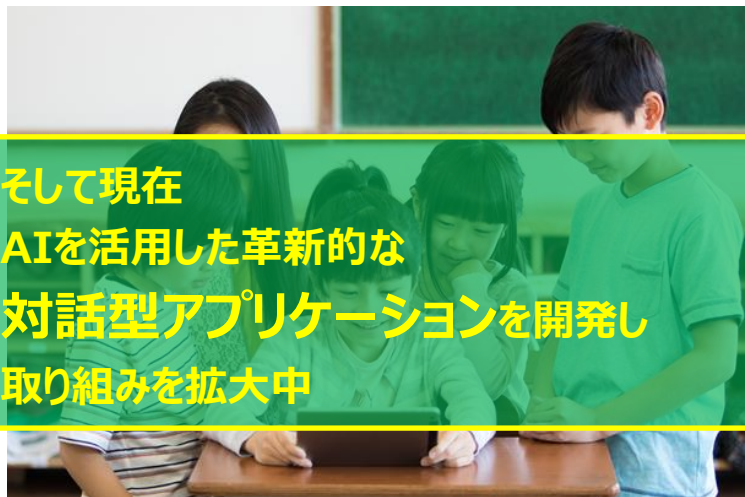


私たちの歩み

alba edu. は過去10年間で
延べ6.5万人の子供たちに
「話す力」を育むプログラムを提供



そして現在
AIを活用した革新的な
対話型アプリケーションを開発し
取り組みを拡大中



私たちはなぜ 話す力を重視するのか？

reason

01

テクノロジーが進化するほど
人間ならではの対話や創造的なコミュニケーションの価値がますます高まる

reason

02

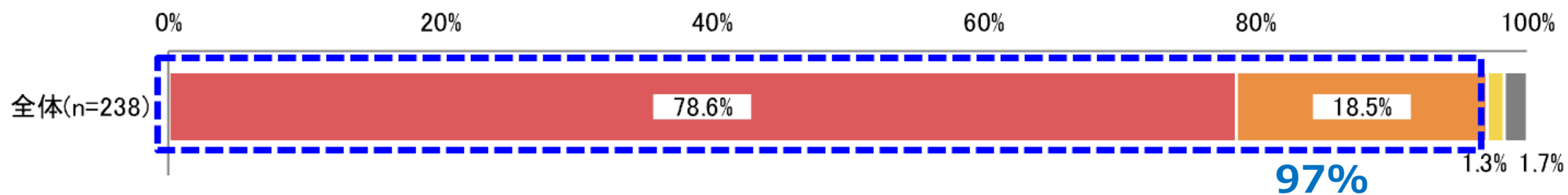
2030年代に社会の中核を担う子供たちには、
世界と対話し 新たな価値を生み出す能力が不可欠



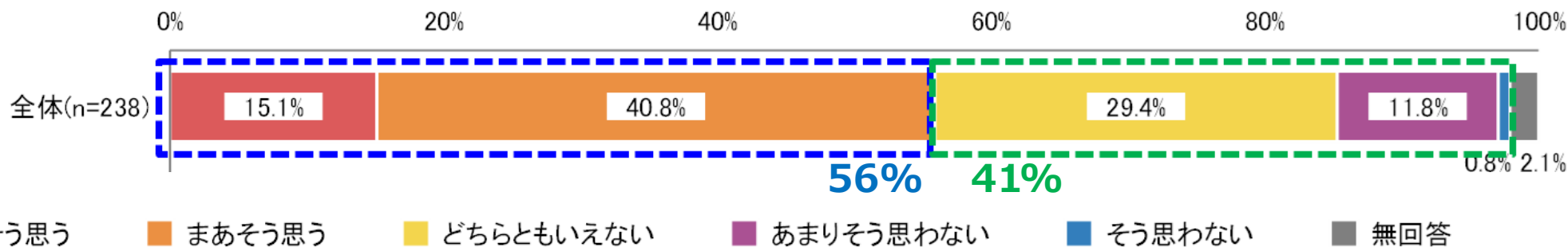
次世代のクリエイターやイノベーターを育む土壌づくり
日本の子供たちが国際社会で自信をもって活躍するための基盤形成に！

ほぼ全員が「話す力」重視したい！

子供の話す力を重視したい！



積極的に授業ができている



■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

4割が実践できていない



教育現場の課題

教師

学級全員への
個別最適な学びの提供子供の主体性を向上
させる即座の価値付けカリキュラム
オーバーロード

子供

自己効力感の低さ

考える力が浅く狭い

話す力の弱さ

解決方法

生成AIを組み込んだアプリ



アルバ・エデュの培ってきた話す力養成プログラム

3

先端技術（生成AIを用いた教育アプリ）導入と話す力

SPEAK STAR（アプリ）

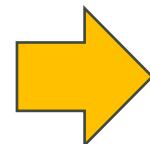
特徴

アルバ・エデュのノウハウ

生成AI

使い方

対話を進め、思考を促す



探究的な学び
主体的・対話的で
深い学び

生成AI
利用

個別対応可能

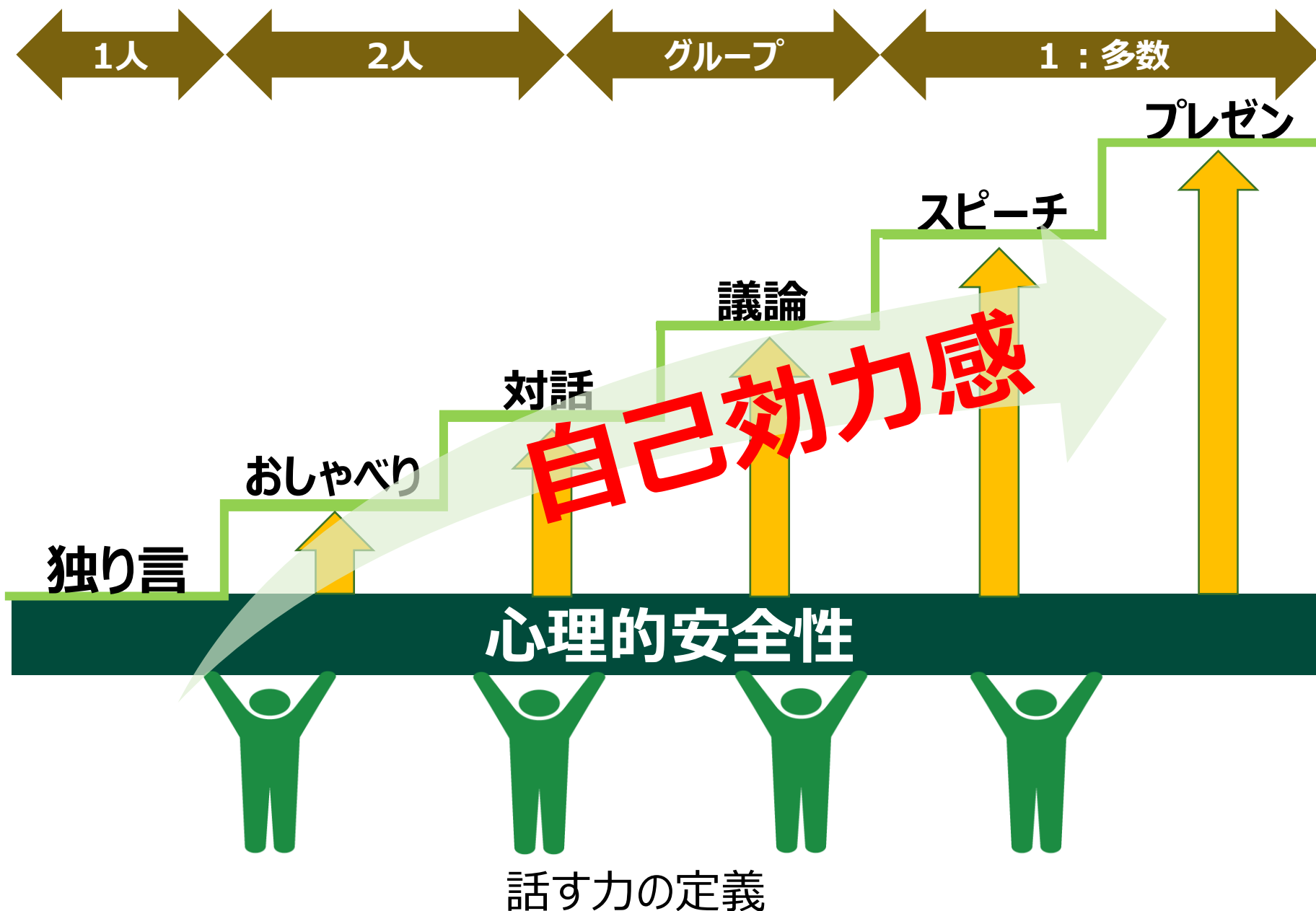
24時間活用可能

対話のデータ活用

教員の負担軽減

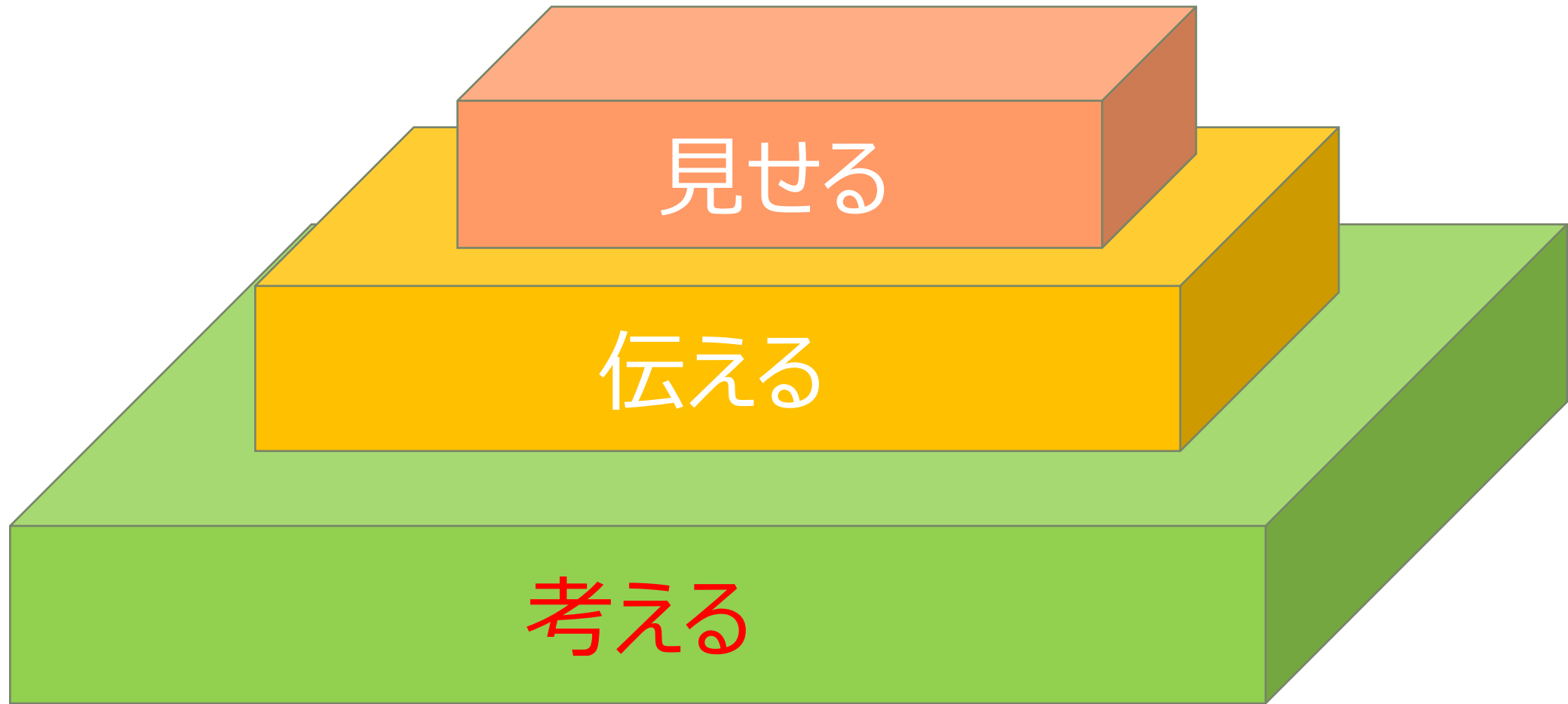
3

先端技術（生成AIを用いた教育アプリ）導入と話す力



3

先端技術（生成AIを用いた教育アプリ）導入と話す力



思考力と話す力の関係

3

先端技術（生成AIを用いた教育アプリ）導入と話す力



広げて

情報を収集したり、連想したりして知識のベースを広げること（調べ学習に該当する）



深めて

主語を「I」にして、問いを立て、意見を紡いでいくこと



選ぶ

広げて深めたものから選定したり抽象化したりすることで、より伝わりやすくすること

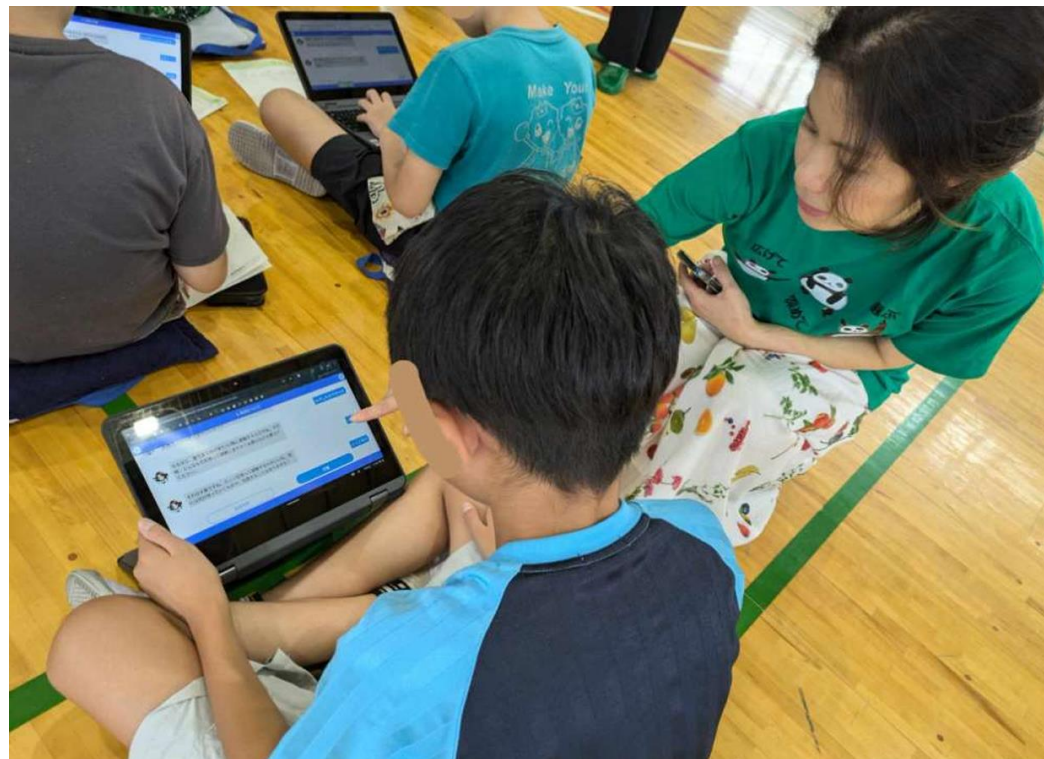
考える力



アプリで考える力を養成する

業務項目	実 施 日 程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A. 開発												
(a) OS対応	←→											
(b) 音声対応	←→											
(c) サーバー接続作業		←→										
B. 学校対応												
(a) 教職員研修				←→								
(b) 端末のセキュリティ解除			←→	←→	←→	←→	←→	←→				
(c) 授業①				↔								
(d) 授業②								↔				
C. 実証関連												
(a) 実証研究委員会①		↔										
(b) 実証研究委員会②								↔				
(c) アンケート①				←→	←→							
(d) アンケート②								←→	←→			
(e) 報告書作成										←→	←→	
(f) 成果報告会											↔	

総合的な学習の時間で、アプリを用いたアルバ・エデュの授業を実施



アプリを用いた授業の様子

1. 「災害や事故」

はい、それでは「災害や事故」というテーマで話を始めましょう。まず、地域にはどのような災害や事故があるのでしょうか？具体的に教えてください。

地震や台風、津波があるんですね。それぞれの災害や事故に対して、あなたの地域ではどのような備えや対策がされていますか？

それはとても大切な備えですね。他にも、例えば避難場所の確認や防災訓練など何か行っていることはありますか？

防災訓練を行っているんですね。その訓練ではどんなことを学びましたか？具体的な体験を教えてください。

素晴らしいですね！地震の時の避難の仕方や注意点について、特に印象に残っていることはありますか？それをどう感じたかも教えてください。

地震や台風、津波

水や非常食を買っています

防災訓練を行っています

地震の時の避難の仕方、避難する場所、注意点を学びました。

会話内容

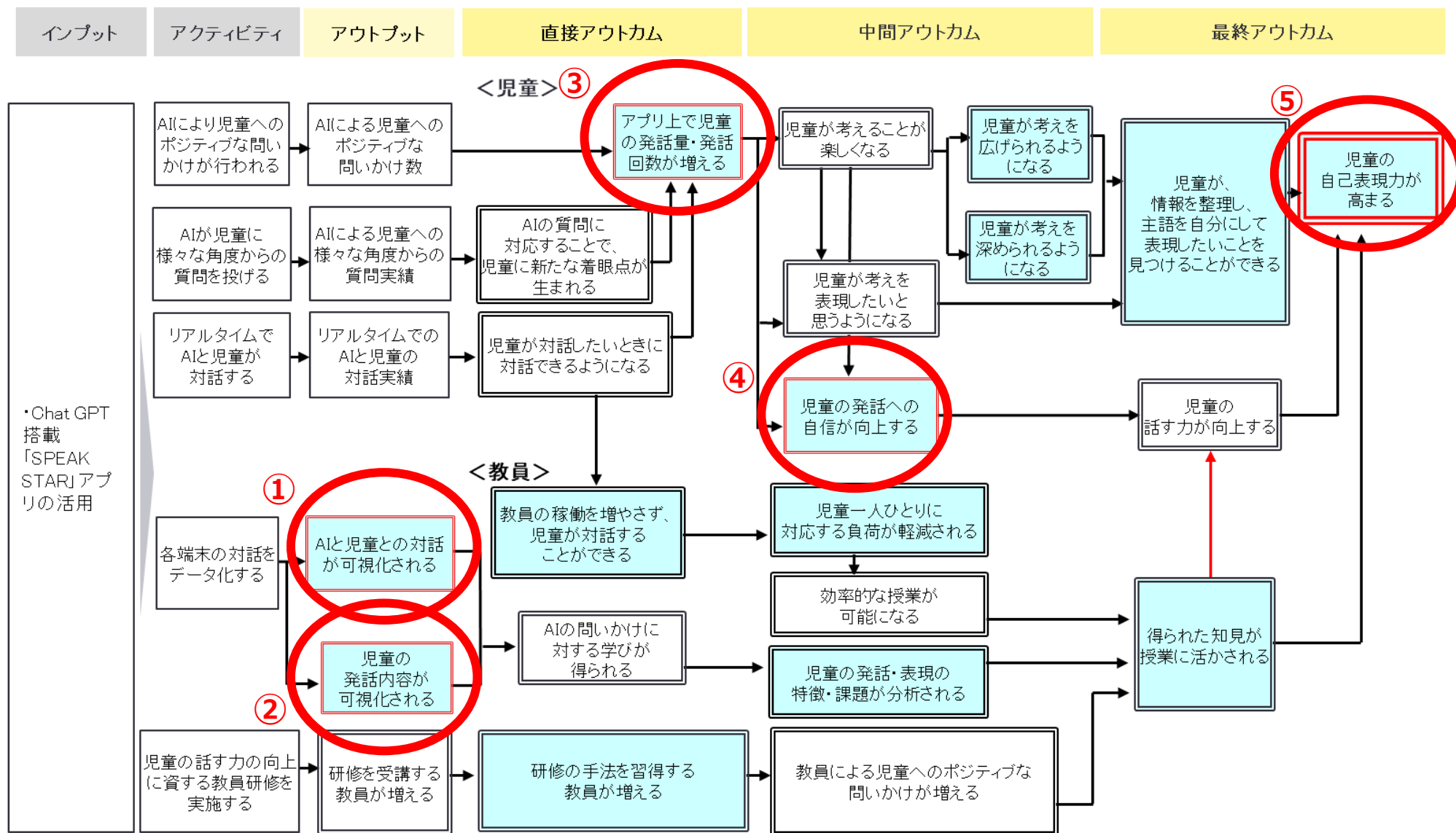
キーワード

アプリの画面

R6 ロジックモデル

事業計画に基づくアウトプット・アウトカム
事業計画で測定対象としているアウトプット・アウトカム
追加的に測定するアウトプット・アウトカム
 ※ いずれも事業計画の表現とは異なる場合がある。

R6

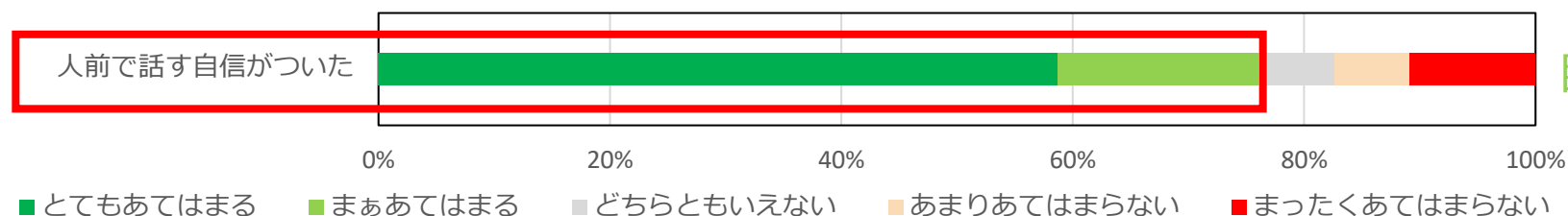


		定義／計算式	目標値 (事業実施期間 終了時の達成目 標値)	結果	エビデンス/データ
①	AIと児童との対話が可視化される	AIと児童との対話が可視化された件数	49×14件	100%達成 アプリのプログラム上でログを 100%確認できるようにした。	対話ログ分析
②	児童の発話内容が可視化される	児童の発話内容が可視化された件数	49×7件	100%達成 アプリのプログラム上で会話内容を 100%可視化できるようにした。	対話ログ分析
③	アプリ上で児童の発話量・発話回数が増える	対話ログ上で、発話量・発話回数が増加している児童の数・割合	39人・80%	対話ログ分析中	対話ログ分析
④	児童の発話への自信が向上する	アンケートで「話すことへの自信がついた」と回答した児童の数・割合	39人・80%	75%	児童に対するアンケート
⑤	児童の自己表現力が高まる	教員が自己表現力が向上したと評価した児童の数・割合	39人・80%	90%	カルテ形式の教員による見取り 類型毎に数名の児童の変化を確認

		定義／計算式	目標値 (事業実施期間 終了時の達成目 標値)	結果	エビデンス/データ
③	アプリ上で児童の 発話量・発話回数 が増える	対話ログ上で、発話 量・発話回数が増加 している児童の数・ 割合	39人・80%	対話ログ分析中	対話ログ分析
④	児童の発話への自 信が向上する	アンケートで「話す ことへの自信がつい た」と回答した児童 の数・割合	39人・80%	75%	児童に対するアンケート

③

アプリを用いた授業による子供の意識変化

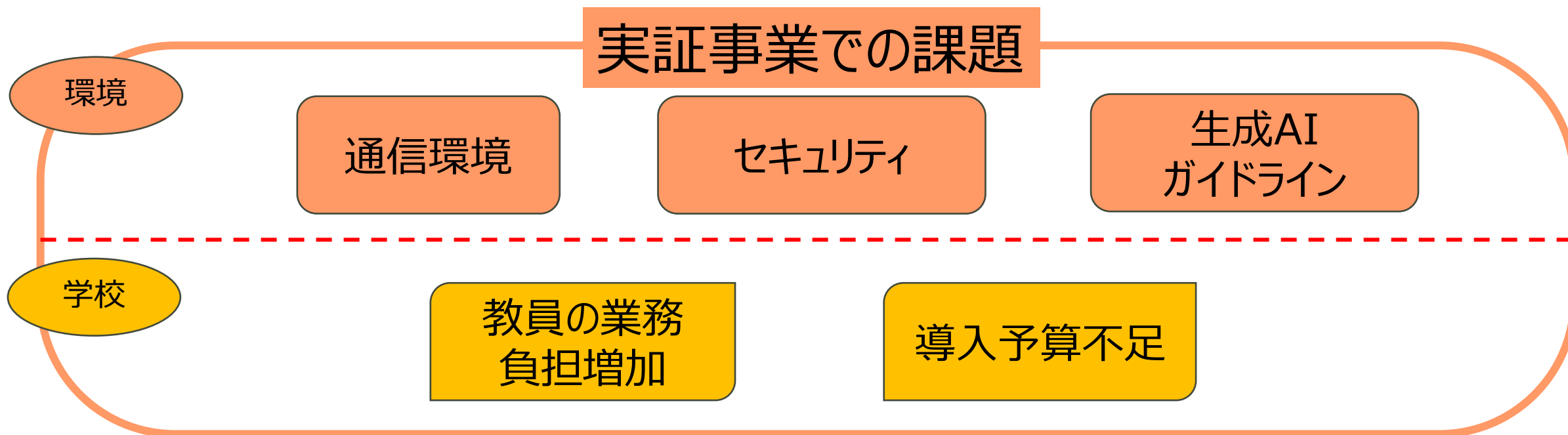


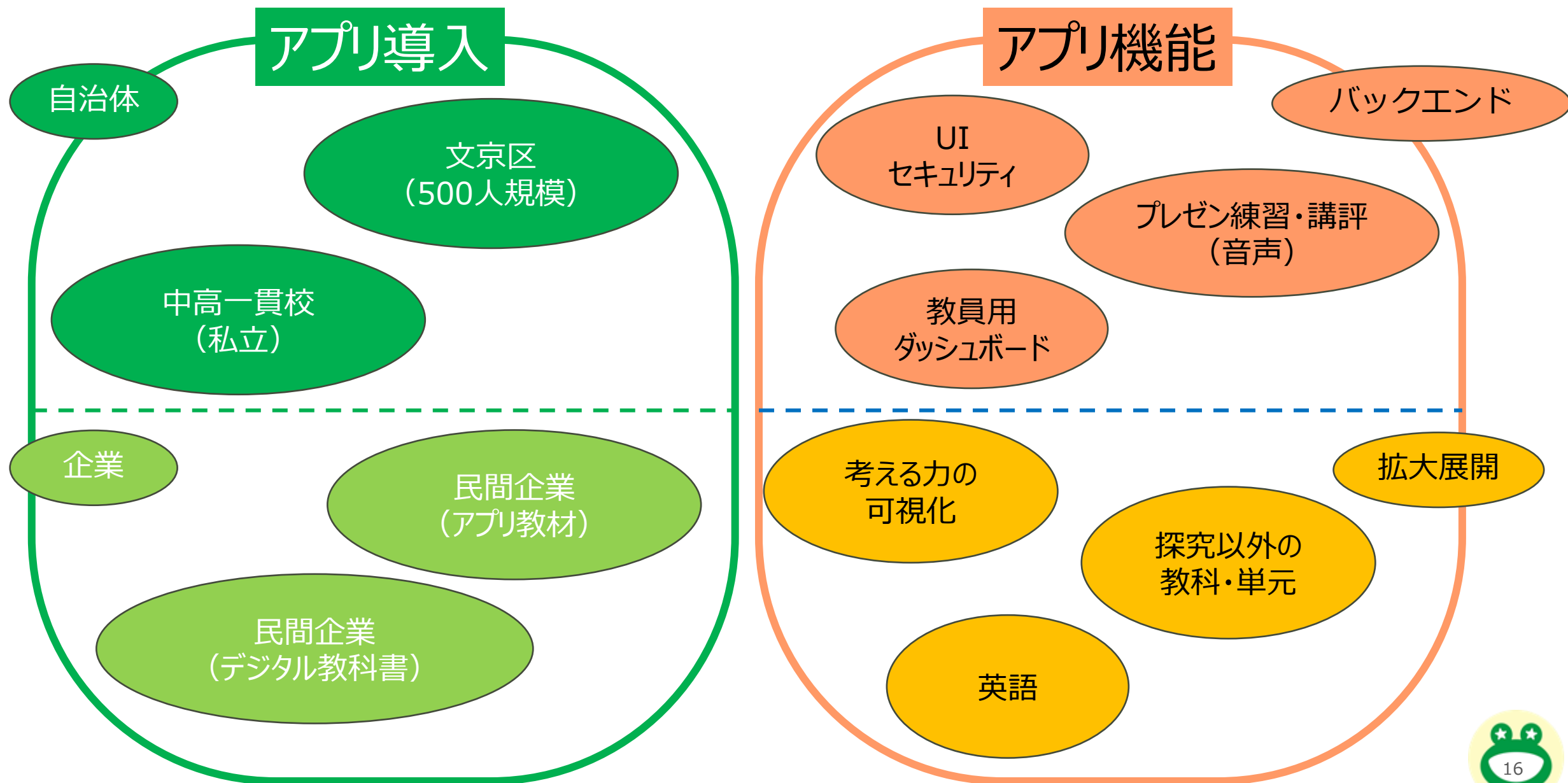
目標値80%をほぼ達成

④

定性的評価項目	教員からの定性的コメント
自己表現力が高まった児童の数	・探究の授業での積極的な姿勢が見られるようになった ・探究の授業中に、自ら発言し、発表の表現力が高まった ・防災について、様々な視点で表現できるようになった

5 実証事業での課題と求める支援





すべての子どもに 「話す力」を！

The Power of Speech for Every Child!



alba edu.